

令和 5 年度事業報告書

社会福祉法人菊水会

令和5年度 きくがわ苑行事の状況 (R5.4.1~R6.3.31)

月	行事内容(地域交流会)・見学	研 修 等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式(全) ・山口県議会議員選挙不在者投票(特養) ・衆議院議員補欠選挙不在者投票(特養) ・社会福祉法人菊水会苦情解決・虐待等防止委員会(全) …年1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会(相談)…偶数月 ・菊川及び豊田コア会議(包括)…毎月主催 ・下関市地域包括所長会議(包括)…毎月参加 ・圏域ケアマネ連絡会(居宅)…毎月参加 ・グローアップ勉強会「リスクマネジメント」(全) ・安全衛生委員会 「健康増進法による受動喫煙防止対策」(全)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者対象の求人説明会(全) ・社会福祉法人菊水会 監事監査 ・社会福祉法人菊水会 第1回理事会 ・地域密着型サービス運営推進会議(里)…毎奇数月 	<ul style="list-style-type: none"> ・下関福祉専門学校実習指導者会議(特養) ・新規学卒者求人説明会(全) ・グローアップ勉強会「個人情報保護について」(全) ・安全衛生委員会「熱中症予防について」(全) ・全職員研修「身体的拘束等の適正化及び虐待防止のための研修①」(全)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人菊水会 定時評議員会 ・社会福祉法人菊水会 第2回理事会 ・下関福祉専門学校見学実習2名(特養) ・下関福祉専門学校見学実習2名(DS) ・下関福祉専門学校見学実習1名(里) ・水害避難訓練実施(苑) ・下関市老人福祉施設職員レクリエーション大会(全) ・ハーモニカ演奏(特養)(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オン:山口県デイ協总会 I 及び管理者研修会 I (DS) ・ふるさと山口企業合同就職フェア(全) ・山口県老人福祉施設相互研修会(特養) ・社会福祉法人会計研修会(全) ・グローアップ勉強会「災害時の対応」(全) ・安全衛生委員会 「違いを認め共に働きやすい職場環境づくり」(全)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者・職員新型コロナワクチン予防接種(6回目) ・下関福祉専門学校校内就職説明会(全) ・下関市運営指導(特養) ・療育音楽(特養)(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県老人福祉施設協議会総会・施設運営研修会(特養) ・有償運送適性診断(家) ・オン:介護職員等処遇改善加算等算定・対策セミナー(全) ・オン:認知症地域推進員研修(包括) ・グローアップ勉強会「看取り介護」(全) ・安全衛生委員会「事故発生防止のための職員に対する研修」(全)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署立入検査(特養・里) ・下関福祉専門学校教育課程編成委員会(全) ・夏の市民フェスタ(全) ・道くさカフェ(全) ・福祉のしごと相談会(全) ・法話(苑)(月1回) ・「きくがわ苑夏まつり」中止 …各事業所、ユニット毎にまつり実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者(児)福祉施設アドバンスコース(中堅職員研修)(就労) ・介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)(特養) ・山口県地域包括・在宅介護支援センター職員研修Ⅰ(包括) ・介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)(特養) ・グローアップ勉強会「感染症及び食中毒の予防」(全) ・安全衛生委員会 「ストレスチェック実施についての説明」(全) ・全職員研修「法令遵守」(全)

月	行事内容(地域交流会)・見学	研 修 等
9	<ul style="list-style-type: none"> ・「敬老会」(各) ・下関福祉専門学校施設実習第3段階(2名)(特養) ・オレンジカフェまんでん(地域交流委員会) ・入居検討委員会(特養) 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)(特養) ・現任職員研修会(DS) ・感染症の予防について(特養) ・グローアップ勉強会「身体拘束廃止虐待防止」(全) ・安全衛生委員会「腰痛予防」(全) ・BCP委員会研修 「施設運営基準に基づくBCPの取組」(全)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアまつり(就労) ・下関市実地指導(家) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス合同説明会(障害) ・安全運転管理者講習会(全) ・介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅱ)(特養) ・年末調整改正内容の詳細説明会(全) ・下半期新任職員研修(全) ・オン:現任職員研修会(DS) ・グローアップ勉強会「口腔ケア」(全) ・感染症対策委員会主催訓練(全)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・健康保険及び厚生年金保険被保険者の資格及び報酬等の調査(全) ・防火訓練(特養・DS・里) ・菊川地区共同募金委員審査委員会 ・下関市運営指導(里) ・オレンジカフェまんでん(地域交流委員会) ・下関福祉専門研修施設実習(特養・里) ・入居者、職員インフルエンザ予防接種(～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県相談支援従事者現任研修(相談) ・地域包括支援センター管理職研修会(包括) ・高齢者虐待対応関係者研修会(包括) ・主任介護支援専門員研修(包括) ・グローアップ勉強会「褥瘡予防」(全) ・全職員研修「介護事故防止のリスクマネジメント」(全)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人菊水会 第3回理事会 ・スペシャルオリンピックス山口・菊川ランチ ～カレンダー贈呈式～ ・職員新型コロナワクチン予防接種(7回目) ・クリスマス会(各) ・餅つき(苑) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人における職場環境見直し研修会(全) ・主任介護支援専門員研修(包括) ・依存症に関する研修会(包括) ・グローアップ勉強会「認知症ケア」(全) ・安全衛生委員会 「ストレスチェック後セルフケア」「飲酒運転追放」(全)
6/1	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者新型コロナワクチン予防接種(7回目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員研修(包括) ・山口県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ (相談) ・相談支援従事者(現任研修)(相談) ・グローアップ勉強会「介護技術」(全) ・安全衛生委員会「セクハラ・パワハラ防止」(全) ・全職員研修 「感染症及び災害に係る業務継続計画の研修」(全)

月	行事内容(地域交流会)・見学	研 修 等
2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価[北九州シーダブル協会](里) ・ふくふくオレンジカフェ(包括) ・オレンジカフェまんてん(地域交流委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員更新研修(包括) ・福祉有償運送運転者講習(家) ・グローアップ勉強会「レクリエーション」(全) ・安全衛生委員会「自殺予防」(全)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人菊水会 第4回理事会 ・入居検討委員会(特養) 2回 ・オレンジカフェまんてん(地域交流委員会) ・防火訓練(特養・DS・里) ・教育課程編成委員会[下関福祉専門学校](全) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人経営力向上セミナー(全) ・山口県老協総会・施設長研修(特養) ・上半期新任職員研修(全) ・グローアップ勉強会「薬について」
備考	<p>・ボランティア関連は別に記載。行事内容等は主な事項の記載であり、また一部は、各事業報告と重複あり。</p> <p>・省略表記 苑=きくがわ苑全体、特養=特別養護老人ホームきくがわ苑、SS=ショートステイ DS=きくがわ苑デイサービスセンター、居宅=きくがわ苑居宅介護支援事業所、 里=グループホームうぐいすの里、障害=障害全体、就労=まんてんの星(就労継続支援 B型)、 生活=まんてんの星(生活介護)、相談=まんてんの星相談室、家=障害者グループホーム星の家、 包括=下関市菊川豊田地域包括支援センター、 各=各事業所、全=法人全体又はそれに類する内容、オン=オンライン研修、</p>	

※省略表記の説明は表末の「備考」を参照。(定期的参加・主催の会議等は初回以降省略)

※「オレンジカフェ」: 高齢者の方、認知症の方やその家族、地域住民の方、子ども等、どなたでも参加できるカフェ。

令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2類から5類に変更になった。高齢者の重症化リスクを考えると完全に行動制限を緩和することは難しいが、感染症予防対策を取りながら、少しずつ面会方法を緩和した。また、6月からはボランティアを受け入れハーモニカ演奏、療育音楽、法話、オレンジカフェまんてん等も再開した。外部研修もオンライン研修から集合研修へ移行しつつある。

クラスターの発生を未然に防ぐためにも職員の抗原検査を定期的実施し、基本的な感染対策に取り組み感染拡大防止に努めた。

令和5年度 ボランティア状況

【敬称略】

分類(月・回数・人数)	団体名	ザ・リバイバーズ(ハーモニカ演奏)	サラナの会(法話)	山口県立田部高等学校(職場体験) (デイスサービス夏まつり手伝い)	劇団見彩美(大衆演劇) デイスサービス	合計
4月	回数	0	0			0
	人数	0	0			0
5月	回数	0	0			0
	人数	0	0			0
6月	回数	1	0			1
	人数	7	0			7
7月	回数	1	0			1
	人数	5	0			5
8月	回数	1	0	2		3
	人数	7	0	5		12
9月	回数	1	1			2
	人数	6	5			11
10月	回数	1	1			2
	人数	6	5			11
11月	回数	1	1			2
	人数	5	5			10
12月	回数	1	1			2
	人数	5	5			10
1月	回数	1	1			2
	人数	7	5			12
2月	回数	1	1			2
	人数	8	5			13
3月	回数	1	1		1	3
	人数	7	5		2	14
合計	回数	10	7	2	1	20
	人数	63	35	5	2	105

ボランティア総合計 105人

令和5年度 特別養護老人ホーム きくがわ苑 事業報告

入居者の平均介護度は、前年度と比べ、従来型・ユニット型ともに、大きな変化は見られなかった。平均年齢は、従来型に70歳代の入居者が増え、前年度に比べると若干若くなった。入居者稼働率は、従来型・ユニット型共に上がった。令和5年度の退居者数は従来型21人（前年対比45.3%減）、ユニット型8人（前年対比27%減）と前年度に比べ減少したことが、稼働率上昇の要因となった。

しかしながら、入居待機者数の減少に加え、入居待機者が入院している病院や介護医療院の諸事情で退院の許可が出ない状況が生じており、入居者の確保に苦心している。

前年度から引き続き感染予防対策を実施し、入居者への感染はなかったが、職員の感染報告は時々あるため、その都度対策を講じている。また現在も面会制限をしているが、この度の満足度調査アンケートにおいて、家族より面会緩和と希望の意見が寄せられているので、今後の面会の方法を検討していく必要がある。

令和5年度は、下関市による運営指導を受け、概ね適正に事業運営がされているとの評価を受けた。今後も良質なサービスが提供できるよう努めたい。

○特養(従来型:定員54人)入退居・入院状況及び稼働率

※入院日数と外泊日数は、入退院日、外泊当日・帰苑日は含まれておりません。

月	退居者数 (人)	退居日 (日)	入居者数 (人)	入居日 (日)	入院者数 (人)	退院者数 (人)	入院日数 (日)	外泊者 数(人)	外泊日数 (日)	延べ在苑者数(人)		
										男	女	合計
4	1	6	4	4 18 21 25	0	0	0	0	0	447	995	1,442
5	4	13 20 29 30	2	26 29	1	0	5	0	0	465	1,057	1,522
6	2	13 16	4	2 8 23 29	0	0	0	0	0	481	990	1,471
7	3	6 11 16	2	18 21	0	0	0	0	0	516	999	1,515
8	0		4	3 10 17 18	0	0	0	0	0	592	1,007	1,599
9	1	27	1	15	0	0	0	0	0	597	1,006	1,603
10	0		1	10	2	0	29	0	0	560	1,076	1,636
11	2	9 17	2	21 29	2	1	35	0	0	522	1,041	1,563
12	1	31	0		2	1	20	0	0	538	1,116	1,654
6/1	3	11 14 31	3	1 25 26	1	1	10	0	0	528	1,112	1,640
2	3	6 25 25	2	15 26	0	0	0	0	0	452	1,073	1,525
3	2	12 24	4	14 21 27 28	0	0	0	0	0	465	1,159	1,624
計	22		29		8(3)	3(2)	99	0	0	6,163	12,631	18,794

()内は実人数 平均年齢86.6歳 平均介護度4.0 稼働率95.1%

○特養(ユニット型:定員 30 人)入退居・入退院状況及び稼働率

※入院日数と外泊日数は、入退院日、外泊当日・帰苑日は含まれておりません。

月	退居者数 (人)	退居日 (日)	入居者数 (人)	入居日 (日)	入院者数 (人)	退院者数 (人)	入院日数 (日)	外泊者数 (人)	外泊日数 (日)	延べ在苑者数(人)		
										男	女	合計
4	0		1	7	0	0	0	0	0	150	714	864
5	0		0		0	0	0	0	0	155	744	899
6	1	24	1	12	0	0	0	0	0	150	733	883
7	0		1	3	0	0	0	0	0	184	744	928
8	0		0		0	0	0	0	0	186	744	930
9	3	10 13 15	2	20 25	0	0	0	0	0	159	706	865
10	1	4	2	17 23	0	0	0	0	0	137	759	896
11	2	3 16	1	20	0	0	0	0	0	150	720	870
12	1	11	2	18 21	0	0	0	0	0	155	749	904
6/1	0		0		0	0	0	0	0	155	775	930
2	0		0		0	0	0	0	0	145	725	870
3	0		0		1	0	12	0	0	143	775	918
計	8		10		1(1)	0	12	0	0	1,869	8,888	10,757

()内は実人数 平均年齢 91.3 才 平均介護度 4.1 稼働率 98.0%

令和 5 年度 特別養護老人ホーム きくがわ苑 短期入所(併設型)

短期宿泊 (障害)短期入所 日中ショートステイ 事業報告

○短期入所生活介護(ショートステイ:定員 16 人)利用状況及び稼働率

月	利用者数(人)					延べ日数(日)		延べ日数 合計(日)	1 日平均 利用者数 (人)
	予防	介護	予防	介護	合計	保険内	保険外		
	男		女						
4	0	4	0	9	13	242	6	248	8.3
5	0	4	0	13	17	254	6	260	8.4
6	0	4	0	12	16	209	6	215	7.2
7	0	4	0	12	16	255	5	260	8.4
8	0	4	0	12	16	259	5	264	8.5
9	0	3	0	13	16	239	5	244	8.1
10	0	4	0	9	13	223	5	228	7.4
11	0	5	0	10	15	218	4	222	7.4
12	0	5	0	12	17	254	4	258	8.3
6/1	0	4	0	10	14	251	5	256	8.3
2	0	4	0	10	15	257	4	261	9.0
3	0	5	0	12	17	340	7	347	11.2
計	0	50	0	134	185	3,001	62	3,063	8.4

稼働率 52.3% 平均介護度 2.3

○障害短期入所 利用状況

月	利用者数 (人)	延べ日数 (日)
4	1	7
5	1	7
6	1	4
7	1	4
8	1	4
9	1	4
10	1	4
11	1	4
12	1	4
6/1	1	4
2	0	0
3	0	0
合計	10	46

○地域活動支援センター基礎的事業（日中ショートステイ）利用状況

月	利用者数 (人)	延べ日数 (日)
4	1	8
5	1	7
6	1	8
7	1	8
8	1	8
9	1	6
10	1	7
11	1	8
12	1	7
6/1	1	1
2	1	6
3	1	4
合計	12	78

令和5年度 きくがわ苑デイサービスセンター 事業報告

令和5年度は34人の契約を行い、24人が利用終了した。要介護者が減少し総合事業の割合が大幅に増加傾向にあるが、利用回数の制限があるため稼働率は伸び悩んでいる。

新型コロナウイルス感染症が5類となり、個別の活動提供から小集団の活動提供へ移行した。イベント等にも力を入れ、地域とのつながりを積極的に行い、檜崎小学校の生徒を招いた活動や高校生ボランティアの受け入れも行った。また、チラシを使用した封筒を作成して、JAに寄付する活動などを通して利用者が地域貢献できるよう、つなげている。

○利用状況 (利用定員 35人)

月	営業日	利用者数(延べ人数)			平均利用者数/日(人)	稼働率(%)
		総合事業	通所介護	合計		
4	26	50	422	472	18.2	52
5	27	59	474	533	19.7	56
6	26	68	473	541	20.8	59
7	26	72	418	490	18.8	54
8	27	70	445	515	19.1	54
9	26	66	401	467	18.0	51
10	26	83	399	482	18.5	53
11	26	98	408	506	19.5	56
12	26	92	399	491	18.9	54
6/1	27	87	343	430	15.9	46
2	25	101	386	487	19.5	56
3	26	105	402	507	19.5	56
計	314	951	4970	5921	18.9	54

○介護度別利用実績 (人)

区分	事業対象者	要支援1	要支援2	総合事業合計
総合事業 延べ利用人数	211	435	305	951

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	通所介護合計
通所介護 延べ利用人数	2436	1601	534	360	39	4970

令和5年度 きくがわ苑居宅介護支援事業所 事業報告

主任介護支援専門員の退職に伴い、9月から1年間休止することにした。

○居宅介護支援事業所 利用状況

区分 月	事業 (人)	要支援1 (人)	要支援2 (人)	合計 (人)	要介護1 (人)	要介護2 (人)	要介護3 (人)	要介護4 (人)	要介護5 (人)	合計 (人)
4	0	1	0	1	18	8	5	1	1	33
5	0	1	0	1	18	9	5	1	1	34
6	0	1	0	1	20	10	8	1	1	40
7	0	1	0	1	16	9	10	1	1	37
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	0	4	0	4	72	36	28	4	4	144

○居宅介護支援事業所 要介護認定訪問調査

区分 月	在宅	施設	合計(人)
4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
	—	—	—
合計	0	0	0

令和5年度 グループホームうぐいすの里 事業報告

令和5年度の入居者は、平均介護度2.11 平均年齢88.9歳であった。

入居者の内、3人が要介護4、1人が要介護3となったので、グループホームでの介護が難しくなり、特別養護老人ホームきくがわ苑に4人入居された。しかし、3月には、要介護5の方の看取りを行うことがあった。

新型コロナウイルス感染症が5類となったが、入居者の生活はコロナ禍の時とあまり変わらず、家族の中には面会を控える方もおられ、面会方法もシート越しにしている。制限のある生活も4年目となったので、職員は入居者の日々の生活に気を配りながら、季節ごとの行事に参加している入居者を写真に撮ってポストカードにして家族に届けた。

家族会は、いまだ感染症の終息の兆しが見えないため開催を控えた。運営推進会議は、2ヶ月に1回開催して、市の職員、警察、地域の消防団、自治会長、家族代表者、入居者代表者とグループホームでの入居者の生活状態や、事故・ヒヤリの報告と対策、行事、災害時の協力体制・新型コロナウイルス感染症予防についての意見交換を行った。

○利用状況

令和6年3月31日現在

性別	男性：0人 女性：18人
出身地別	菊川町：5人 旧下関市：10人 豊田町：3人

○入居者・入院状況及び稼働率

月	退居者数(人)	退居日(日)	入居者数(人)	入居日(日)	空室日数	入院者数(人)	退院者数(人)	入院日数	外泊者数(人)	外泊日数	延べ在所者数(人)
4	1	4/7	1	4/9	2	0	0	0	0	0	538
5	1	5/26	0		5	0	0	0	0	0	553
6	0		1	6/9	8	0	0	0	0	0	532
7	1	7/3	1	7/6	2	0	0	0	0	0	556
8	0		0		0	0	0	0	0	0	558
9	1	9/25	1	9/29	3	0	0	0	0	0	537
10	0		0		0	0	0	0	0	0	558
11	0		0		0	0	0	0	0	0	540
12	0		0		0	0	0	0	0	0	558
6/1	0		0		0	0	0	0	0	0	558
2	0		0		0	0	0	0	0	0	522
3	1	3/12	1	3/16	3	0	0	0	0	0	554
計	5		5		25	0	0	0	0	0	6,564

稼働率 99.6%

令和5年度 相談支援事業 まんてんの星相談室 事業報告

令和5年度 サービス等計画作成対象者は、新規5人（内児童3人）、終了者9人（サービス利用中止1人、介護保険移行2人、就職3人、事業所移行2人、死亡1人）にて、令和6年3月末現在計画作成者152人（内児童15人）。他一般相談において、療育、就業、健康、生活、その他があり、相談支援専門員2人（常勤、常勤兼務）で対応した。

1. 支援方法（前年度人数）

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
351 (334)	154 (177)	11 (16)	570 (786)	10 (11)	137 (132)	1836 (2049)	6 (15)	3075 (3520)

2. 相談者数（前年度人数）

	相談者数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	合計
障害者	相談者数	43 (36)	1 (1)	118 (117)	45 (44)	16 (18)	0 (1)	7 (6)	230 (223)
	延べ相談者数	420 (487)	34 (16)	1654 (1954)	830 (1253)	270 (285)	0 (2)	17 (10)	3225 (4007)
障害児	相談者数	2 (2)	0 (0)	7 (8)	0 (1)	15 (16)	0 (0)	3 (2)	27 (29)
	延べ相談者数	14 (46)	0 (0)	158 (193)	0 (2)	379 (374)	0 (0)	39 (7)	590 (622)

3. 支援内容

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	2971	生活技術に関する支援	58
障害や症状の理解に関する支援	17	就労に関する支援	31
健康・医療に関する支援	153	社会参加・余暇活動に関する支援	26
不安の解消・情緒安定に関する支援	92	権利擁護に関する支援	14
保育・教育に関する支援	24	成年後見人	0
家族関係・人間関係に関する支援	150	その他	11
家計・経済に関する支援	31	合計	3578

・自立支援協議会

事務局会議（令和5年5・7・9・11月、令和6年1・3月） 下関市社協

相談支援部会（令和5年4・6・8・10月、令和6年2月） 下関市社協

就労部会（令和5年4・5・6・7・8・9・10・11・12月、令和6年1・2・3月） 勝山・川中公民館

地域移行・居住支援部会（令和5年4・6・8月、令和6年2月） オンライン・下関市社協

地域生活支援拠点整備検討会議（令和5年5・7・9月、令和6年1・3月） 下関市社協

ケアマネ合同研修会（令和5年8月） 下関市社協

気になる子・障害のある子の支援連携会議（令和5年4月） 下関市役所

障害福祉サービス合同説明会（令和5年10月） 下関総合支援学校

障害福祉サービス合同説明会運営委員会（令和5年7・8月、令和6年3月） 下関総合支援学校

・菊川圏域地域福祉研修会（令和5年10月） アブニール

・障害福祉計画等策定委員会（令和5年11月、令和6年2月） 川中公民館

・障害支援区分認定調査（市内全域） 60件

令和5年度 グループホーム星の家 事業報告

現在、4棟（女性棟、男性棟、混合棟2棟）のグループホームに男女合わせて15人（男性5人、女性10人）の方が生活している。利用者が自立した生活ができるよう利用者と職員が一緒に考え、感染症の予防に取り組みながら、初詣・新年会の実施また買い物支援等地域の中で安心して生活できるように寄り添った支援を行った。

職員は、正職員5人、パート3人が交代で、利用者のニーズや必要性に応じた体制を考慮しながら勤務している。

月	利用者延人数	主な行事
4	473	
5	482	・利用者満足度調査アンケート実施（全利用者）
6	467	・(6/28) チューリップ会（まんてんの星多目的室）利用者参加14人、役職員8人
7	489	・(7/13) 北斗・銀河・すばる 災害時避難訓練（避難先 下関市役所菊川総合支所 参加人数 職員5人、利用者10人） ・(7/14) オリオン 災害時避難訓練（避難先 複合型ケアタウンにじの丘 参加人数 職員3人、利用者4人）
8	459	・(8/29) すばる 火災消火通報避難訓練
9	445	・(9/28) 北斗 火災消火通報避難訓練（消防署立会）
10	459	・(10/18) すばる（男性）外出支援 しまむら・ユニクロ ・(10/31) 令和5年度指定障害福祉サービス事業等に係る実地指導（監査）【下関市福祉部福祉課主任 木戸氏・桧垣氏】
11	442	
12	430	
R6	1	421
	2	422
	3	458
		・(1/3) 初詣（内日神社）、新年食事会（しらさぎ本陣）参加者11人、苑長、職員5人
		・(3/18) 北斗 地震発生による避難訓練及び火災消火通報訓練（自主訓練）

会議等：スタッフ会議：月1回

チューリップ会（利用者の会）

- ・買物及び外食の外出支援：上期は、コロナ禍により月1回、各棟順番による外出は中止。個別の買い物支援は実施（下期よりコロナの感染状況を踏まえ個別・少人数で実施）初詣及び新年会での食事（希望者参加 4棟合同）
- 家族会：（家族、利用者の交流を兼ねた外出計画）～コロナ禍により延期
- ・その他（個別対応等）
毎月の定期受診及び臨時受診の付き添い、ワクチン接種の付き添い。

選挙や金融機関及び官公庁諸手続き等の同行、個別外出や買い物対応等
 ※ 入居者数：定員20人 及び【短期入所（女性）1人】
 現在 北斗（女性）5人、銀河（男性）3人、すばる（男性）1人（女性）3人、
 オリオン（男性）1人（女性）2人 計15人

短期入所事業サービス利用状況（令和5年4月～令和6年3月）

4月	0人	5月	1人	6月	0人	7月	0人
8月	0人	9月	1人	10月	0人	11月	0人
12月	0人	R6/1月	0人	2月	0人	3月	0人
						合計	2人

令和5年度 まんてんの星 事業報告
 (多機能型事業所就労継続支援B型)

一般就労が困難な方に就労の機会を提供するとともに、生産活動(下請作業や農作業)を通して、その知識と能力の向上に必要な訓練を行った。また、法人目標「利用者と職員の安全確保」に基づき、日々の健康管理や環境整備、障害特性を踏まえた支援と介助、BCPの策定(感染症・災害)等により、安心安全に利用できるように努めた。職員に関しても、BCPの策定を通して安全対策・確保に対する意識を高めることができた。

令和6年3月31日現在、登録者男性7人、女性7人計14人、(身体障害者3人、知的障害者8人、精神障害者3人)で、延べ2,940人が利用し、1日の平均利用人数は10.8人であった。農作業では、野菜を生産し、小日本ふるさと市や法人内で販売した。下請作業については受注量も安定しており、収益を伸ばすことができた。

月	開所 日数 (日)	延べ 利用 人数 (人)	行事内容
4	22	284	
5	23	312	・ボランティア連絡協議会 ・小日本ふるさと市総会
6	22	269	・見学者2人 ・体験利用1人 ・外出行事
7	23	271	
8	23	251	・防災訓練(火災想定) ・夏まつり(利用者・職員のみ)
9	22	236	
10	23	246	・障害福祉サービス合同説明会(下関総合支援学校) ・ボランティアまつり(地域交流)
11	22	235	・企業見学会(こども発達センター) ・見学者2人 ・芋煮会(ボランティア連絡協議会・・・芋煮は事業所持ち帰り)
12	23	222	・クリスマス外食 ・もちつき
6/1	23	224	
2	21	185	・ボランティア連絡協議会
3	23	205	・障害福祉サービス事業所パネル展示(シーモール) ・防災訓練(火災想定) ・花見
合計	270	2,940	

その他の作業内容	
自主生産	野菜の生産販売：法人内及び小日本ふるさと市で販売
下請け	きくがわ苑畑の管理(草取り) (株)広栄：自転車部品の組み立て
回収	アルミ缶、古紙等(稲富商事)
運動	ボッチャ：月1回 職員により実施 エアロビ：月1回(木曜日)ボランティア 原 美香 様(6月・8月・9月・12月休み) ラジオ体操：開所日の午後 13:00～13:05
会議	終礼(利用者)：開所日毎日(14:50～15:00)1日の反省、次の目標 利用者会議：月1回(レクリエーションを含めて) 星の連絡会議：月1回(法人・星の家・就労・生活介護・相談室) ミーティング：1日3回 (まんでんの星相談室・星の家・就労・生活介護、合同による連絡・報告会議) スタッフ会議：月1回 法人全職員会議、各実行委員会出席
その他	オレンジカフェ会場～多目的室にて(奇数月に1回実施)(5月、7月中止) 「まんでん通信」年2回発行 下関市自立支援協議会 就労部会：月1回
*定員20人：令和6年3月31日現在 登録者14人(男性7人、女性7人) 送迎：菊川 豊田 小月、長府方面	

令和5年度 まんてんの星 事業報告
(多機能型事業所生活介護)

自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上のために、バイタルチェック、創作活動、レクリエーション、運動、排せつ及び食事等の介助、入浴、その他日常生活上の支援等を行った。

また、法人目標「利用者と職員の安全確保」に基づき、日々の健康管理や環境整備、障害特性を踏まえた支援と介助、BCPの策定(感染症・災害)等により、安心安全に利用できるように努めた。職員に関しても、BCPの策定を通して安全対策・確保に対する意識を高めることができた。

令和6年3月31日現在の登録者は、9人(知的障害9人)(男性1人、女性8人)(区分6⇒1人、区分5⇒2人、区分4⇒6人)である。延べ2,138人が利用し、1日の平均利用人数は7.9人、平均障害支援区分は4.4である。

月	開所日数(日)	延べ利用人数	行事内容
4	22	184	
5	23	201	
6	22	172	・外出行事
7	23	188	
8	23	177	・防災訓練(火災想定) ・夏まつり(利用者・職員のみ)
9	22	180	
10	23	186	・障害福祉サービス合同説明会(下関総合支援学校) ・ボランティアまつり(地域交流)
11	22	177	・下関総合支援学校実習2名 ・豊浦総合支援学校実習1名 ・見学者1名 ・芋煮会(ボランティア連絡協議会・芋煮は事業所持ち帰り)
12	23	181	・下関総合支援学校実習1名 ・クリスマス外食 ・もちつき
6/1	23	181	
2	21	149	
3	23	162	・障害福祉サービス事業所パネル展示(シーモール) ・防災訓練(火災想定)
合計	270	2,138	

運 動	ポッチャ : 月1回 職員により実施 エアロビ : 月1回(木曜日)ボランティア 原 美香 様(6月、8月、9月、12月休み) ラジオ体操 : 毎日
会 議	終礼(利用者) : 開所日毎日(15:00~15:30)1日の反省、次の目標 利用者会議 : 月1回(レクリエーションを含めて) 星の連絡会議 : 月1回(法人、星の家、就労、生活介護、相談室) ミーティング : 1日3回 (まんてんの星相談室・星の家・就労・生活介護、合同による連絡・報告会議) スタッフ会議 : 月1回 全職員会議、各実行委員会出席

その他	<p>オレンジカフェ会場～多目的室にて(奇数月に1回実施) (5月、7月中止)</p> <p>「まんてん通信」年2回発行</p> <p>下関市自立支援協議会 暮らしの部会 : 月1回</p>
<p>*定員 10人 :令和6年3月31日現在 登録者9人(男性1人、女性8人)</p> <p>送迎 : 菊川 豊田、小月、王司、王喜方面</p>	

令和5年度 福祉有償運送事業 事業報告

菊水会の障害者施設の利用者 12 人を対象として、星の家から、きくがわ苑までの日中ショート、受診等の送迎を行い、延べ 220 回の運送を実施した。

◎対象者

- イ. 身体障害者福祉法第 4 条に規定する身体障害者
- ロ. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 5 条に規定する精神障害者
- ハ. 障害者の雇用の促進等に関する法律第 2 条第 4 号に規定する知的障害者
- ニ. 介護保険法第 19 条第 1 項に規定する要介護認定を受けている者
- ホ. 介護保険法第 19 条第 2 項に規定する要支援認定を受けている者
- ヘ. 介護保険法施行規則第 140 条の 62 の 4 第 2 号の基準(基本チェックリスト)に該当する者
- ト. その他肢体不自由、内部障害(人工血液透析・肝機能障害などを含む)、知的障害者、精神障害その他の障害を有する者(自閉症、学習障害などの発達障害を含む)

◎使用車両

種別	福祉有償運送	登録番号	中山福第4号		
登録会員	12 人	旅客の範囲			
		身体障害者	精神障害者	知的障害者	要介護認定者
		1 人	5 人	5 人	0 人
		要支援認定者	基本チェックリスト	その他	
	0 人	0 人	1 人		
使用車両	ムーブ	下関 580 え 8475	4 人定員	軽自動車(セダン等)	
	ラクティス	下関 500 す 3924	5 人定員	普通車(車椅子車両)	
	NBOX	下関 580 そ 7513	4 人定員	軽自動車(セダン等)	
	ミラ	下関 580 け 1876	4 人定員	軽自動車(セダン等)	

◎実施報告

実施月	実施日数	延べ人数 (人)	利用コース
4	8	15	星の家⇄きくがわ苑・受診
5	9	13	星の家⇄きくがわ苑・受診・公共機関
6	7	12	星の家⇄きくがわ苑・受診
7	11	19	星の家⇄きくがわ苑・受診
8	11	21	星の家⇄きくがわ苑・受診
9	11	19	星の家⇄きくがわ苑・受診
10	9	15	星の家⇄きくがわ苑・受診
11	13	28	星の家⇄きくがわ苑・受診
12	12	25	星の家⇄きくがわ苑・受診
6/1	11	21	星の家⇄きくがわ苑・受診
2	9	17	星の家⇄きくがわ苑・受診
3	9	15	星の家⇄きくがわ苑・受診
合計	120	220	

*福祉有償運送運転者講習を受講した職員が送迎対応をしています。

令和5年度下関市菊川・豊田地域包括支援センター 事業報告

令和5年度は感染対策に留意しながら、徐々に活動を拡げ、地域行事への参加や圏域の介護支援専門員への支援を積極的に行った。また、相談件数が増加し、相談内容も複雑化する中、職員の退職等により、時間外業務が多くなったが、スタッフ間で協力し合い、業務を遂行した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	586	621	675	630	570	581	595	577	543	586	520	620	7,104
要支援	392	401	458	491	425	431	404	391	377	439	398	394	5,001
事業対象者	74	60	64	30	28	37	64	65	36	32	32	55	577
その他(総合相談等)	120	160	153	109	117	113	127	121	130	115	90	171	1,526
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防ケアプラン件数	251	252	258	252	259	266	270	281	275	271	269	271	3,175
要支援1	116	113	122	118	125	127	131	139	139	140	138	137	1,545
要支援2	109	110	109	108	109	112	108	110	105	104	106	104	1,294
事業対象者	26	29	27	26	25	27	31	32	31	27	26	30	337
(委託事業所数)	14	15	15	14	11	13	13	12	12	12	12	12	155
住宅改修支援業務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 総合相談支援業務…本人やその家族、民生委員や福祉員、医療・福祉関係機関などから介護や日常生活に関する相談があった。権利擁護・成年後見制度等法的な相談が多く、認知症や精神疾患や身体的な疾患に関する相談、近隣トラブルや虐待等、医療面や法律に関与する相談も増えている。その為、関係機関や自治体と情報共有し、連携を図りながら問題解決に取り組んだ。また、介護保険・福祉・保健についての情報紙「介護あんしんマップ」を住民用に作成し、相談者へ配布した。
- 一般介護予防事業…5月から新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなったため、地域からの介護予防ふれあい講座の依頼を多く受け入れた。また、いきいきサロンにも出向き、介護保険に関する事や介護予防・フレイル予防、認知症・詐欺被害予防対策についての講座など年度初めの計画より多い15回実施した。豊田町で「いきいき百歳体操」の開催依頼があり、一年間支援を行った。今年度は「いきいき百歳体操」を実施している参加者に対して下関市年金保険課が取り組んでいる「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」を行った。包括は、これを受託し、実施したことにより、住民の介護予防意識の向上に努めた。
- 介護予防・生活支援サービス事業…地域の方が介護保険や総合事業等適切なサービスを利用し安定した生活を確保できるように、担当ケアマネとしてマネジメントを行っている。また、居宅介護支援事業所へ担当の委託を依頼し、委託管理を行っている。
- 認知症施策関連…認知症地域支援推進員を中心に医師会や下関市認知症疾患医療センターとの連携を図り、オンラインにて連絡会議や勉強会へ参加した。また、圏域内の小学校より要望があり、認知症キッズサポーター養成講座の開催に協力した。9月よりオレンジカフェまんてんが再開したので、ミニ講座や相談など専門職として支援している。
- 介護支援専門員への支援…圏域ケアマネ連絡会や圏域事例検討会をそれぞれ隔月で開催し、困難ケースに対しては圏域個別ケア会議を実施した。ケアマネ連絡会ではコロナ禍で開催できなかった事業所連絡会を再開し、規模を小さくして、サービス事業所の種別ごとに交流の場をもった。
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務…地域コア会議を開催。構成メンバーは行政や警察、社会福祉協議会、医療機関、民生委員、薬局等に依頼し、情報共有や課題についての検討を行った。年2回、包括新聞を発行し、家族が帰省時に目に留まるようにと個別配布を行い周知に努めた。また、職員は、適宜研修に参加し、自己啓発に努めた。

令和5年度 にじの丘行事等の状況 (R5. 4. 1～R6. 3. 31)

月	行事内容 (地域交流会) ・見学	研 修 等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式 (全) ・花見 (全) ・苦情解決・虐待防止委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [リスクマネジメント] (全) ・安全衛生委員会 「健康増進法による受動喫煙防止対策」(全)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶会 (全) ・社会福祉法人菊水会 監事監査 ・社会福祉法人菊水会 第1回理事会 ・地域密着型サービス運営推進会議 (特養・GH) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [個人情報保護について] (全) ・安全衛生委員会「熱中症予防について」(全) ・全職員研修「身体的拘束等の適正化及び虐待防止のための研修①」(全)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・下関福祉専門学校 [実務者実習：3名] (特養 GH) ・社会福祉法人菊水会 定時評議員会 ・社会福祉法人菊水会 第2回理事会 ・入居者・職員、新型コロナワクチン接種 (6回目) ・下関市老人福祉施設職員レクリエーション大会(全) ・道くさカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [災害時の対応] (全) ・令和5年度山口県老人福祉施設相互研修会 (特) ・安全衛生委員会 「違いを認め共に働きやすい職場環境づくり」(全)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・花火見物 (全) ・白山神社お神輿 (全) ・地域密着型サービス運営推進会議 (特養・GH) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [看取り介護] (全) ・令和5年度山口県老人福祉施設運営研修会 (特) ・安全衛生委員会「事故発生防止のための職員に対する研修」(全)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ音楽畑ピアノコンサート ・夏の市民フェスタ (展示・バザー・ワークショップ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [感染症予防及び食中毒予防] (全) ・安全衛生委員会「ストレスチェック実施についての説明」(全) ・全職員研修「法令遵守」(全)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回介護・医療連携推進会議 (定期) ・入居検討委員会 (特養) ・地域密着型サービス運営推進会議 (特養・GH) ・敬老会 (各) ・オレンジカフェまんてん再開 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [身体拘束・虐待防止について] (全) ・2023年度ユニットリーダー研修 (特養) ・居宅介護支援事業所におけるBCPについて [オン] ・安全衛生委員会「腰痛予防」(全) ・BCP委員会研修 「施設運営基準に基づくBCPの取組」(全)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・にじの丘お楽しみ会 (各) ・消防避難訓練 (に全) 	<ul style="list-style-type: none"> ・下半期新任職員研修 (全) ・安全運転管理者講習会(全) ・グローアップ勉強会 [口腔ケアについて] (全) ・感染症対策委員会主催訓練(全)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者・職員、新型コロナワクチン接種 (7回目) ・下関福祉専門学校 [実務者研修 実習：2名] (GH) ・地域密着型サービス運営推進会議 (特養・GH) ・オレンジカフェまんてん 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [褥瘡について] (全) ・スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 長野大会参加 (1名) ・全職員研修「介護事故防止のリスクマネジメント」(全)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人菊水会 第3回理事会 ・スペシャルオリンピックス山口・菊川ランチ ～カレンダー贈呈式～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [認知症ケア] (全) ・職場環境見直し研修会 (全) ・特定給食施設等研修 (給食) ・令和5年度依存症に関する研修会 (居宅)

	<ul style="list-style-type: none"> ・忘年会 (各) ・クリスマス会 (各) ・餅つき (全) 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会 「ストレスチェック後セルフケア」「飲酒運転追放」(全)
6/1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス運営推進会議 (特養・GH) 【文書にて】 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [介護技術について] (全) ・安全衛生委員会「セクハラ・パワハラ防止」(全) ・全職員研修 「感染症及び災害に係る業務継続計画の研修」(全)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・節分豆まき (各) ・外部評価 (GH) ・オレンジカフェまんてん 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローアップ勉強会 [レクリエーションについて] (全) ・県老協特別研修会 [オン] [介護報酬改定について] ・菊川町相談機関連携研修会 (居宅) ・終末期の支援研修 (居宅) ・安全衛生委員会「自殺予防」(全)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・下関市実地指導 (訪介障害) ・オレンジカフェまんてん (笑いヨガ) ・入居検討委員会 (特養) ・社会福祉法人菊水会 第4回理事会 ・第2回介護・医療連携推進会議 (定期) 外部評価実施 (定期) ・消防避難訓練 (に全) ・地域密着型サービス運営推進会議 (特養・GH) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県経営協総会・社会福祉法人経営力向上セミナー ・上半期新任職員研修 (全) ・グローアップ勉強会 [薬について] (全)
	<p>・ボランティア関連は別に記載。行事内容等は主な事項の記載であり、また一部は各事業報告と重複あり。</p> <p>・省略表記 特養=地域密着型特別養護老人ホームにじの丘、GH=地域密着型グループホームにじの丘 サ高住=サービス付き高齢者向け住宅にじの丘 訪看=訪問看護ステーションにじの丘、訪介=訪問介護ステーションにじの丘 居宅=居宅介護支援事業所にじの丘、定期=定期巡回・随時対応型訪問介護看護にじの丘 オン=オンライン研修</p>	

令和5年度 地域密着型特別養護老人ホーム にじの丘 事業報告

年間の退居者が4人あり、体調不良による入院者もあったため、稼働率は前年度の99.4%から98.9%に下がった。入居者の平均介護度は、4.3から4.2となった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面会制限等を継続したが、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、にじの丘お茶会、毎月のハーモニカ演奏や療育音楽など、外部の方に依頼する行事を一部再開した。

しかし、1月11日から入居者4人、職員6人が新型コロナウイルス感染症に罹患し、1月24日まで施設内で感染対応をした。入居者、職員共に軽症のため、施設内療養または自宅療養にて回復した。

2か月に1回行う地域密着型サービス運営推進会議は通常通り開催したが、1月の会議は新型コロナウイルスの感染対応のため、文書による開催とした。

業務継続計画策定のため、非常災害や感染症が事業所内で発生した場合においても、サービス提供を継続、もしくは早期に復旧するために実施すべき事項を定めた。

○入退居・入院状況及び稼働率

(定員 29人)

月	退居者数(人)	退居日(日)	入居者数(人)	入居日(日)	入院者数(人)	退院者数(人)	入院日数(日)	外泊者数(人)	外泊日数(日)	延べ在所者数(人)		
										男	女	合計
4	0		0		0	0	0	0	0	240	630	870
5	0		0		0	0	0	0	0	248	651	899
6	0		0		0	0	0	0	0	240	630	870
7	1	26	0		0	0	0	0	0	248	646	894
8	0		1	9	1	0	8	0	0	240	643	883
9	1	28	0		1	0	28	0	0	210	630	840
10	0		1	18	0	0	0	0	0	231	651	882
11	0		0		1	0	14	0	0	240	616	856
12	1	18	1	21	1	1	7	0	0	235	655	890
1	0		0		0	0	0	0	0	203	682	885
2	1	15	0		0	0	0	0	0	203	624	827
3	0		1	1	0	0	0	0	0	248	651	899
計	4		4		4	1	57	0	0	2,786	7,709	10,495

※入院日数と外泊日数は、入退院日、外泊当日・帰所日は含まれない。

稼働率 98.9%
平均介護度 4.2
平均年齢 92.6歳

令和5年度 グループホームにじの丘 事業報告

今年度の入居者の、平均介護度は、2.5、平均年齢は、88.4歳であった。2人の入退居と骨折での長期入院者がいたため、稼働率は95.7%になった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面会制限等を継続した。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、にじの丘お茶会、毎月のハーモニカ演奏や療育音楽など、外部の方に依頼する行事を一部再開した。

2か月に1回行う地域密着型サービス運営推進会議は通常通り開催したが、特養での新型コロナウイルス感染対応のため、1月の会議は文書による開催とした。

2月に外部評価機関である「特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会」の外部評価を受審した。運営については、概ね高い評価を得られた。

業務継続計画策定のため、事業所内で非常災害や感染症が発生した場合においても、サービス提供を継続、もしくは早期に復旧するために実施すべき事項を定めた。

○利用状況

(定員 9人)

利用者	男性：0人 女性：8人	(令和6年3月31日現在)
-----	-------------	---------------

○入居者・入院状況及び稼働率

月	退居者数(人)	退居日	入居者数(人)	入居日	空室日数	入院者数(人)	退院者数(人)	入院日数	外泊者数(人)	外泊日数	延べ在所者数(人)
4	0		0		0	0	0	0	0	0	270
5	0		0		20	1	0	20	0	0	259
6	0		0		30	1	0	30	0	0	240
7	0		0		31	1	0	31	0	0	248
8	1	4	1	8	7	1	0	4	0	0	272
9	0		0		0	0	0	0	0	0	270
10	0		0		0	0	0	0	0	0	279
11	0		0		0	0	0	0	0	0	270
12	0		0		0	0	0	0	0	0	279
1	0		0		0	0	0	0	0	0	279
2	1	29	0		19	1	0	19	0	0	242
3	1	29	1	5	31	1	0	29	0	0	244
計	3		2		138	6	0	133	0	0	3,152

稼働率 95.7%

平均介護度 2.5

平均年齢 88.4歳

令和5年度 訪問介護ステーション にじの丘 事業報告

年度末時点の利用登録者数は16人、利用者割合は、サービス付き高齢者向け住宅の入居者が75%、地域の利用者が25%で、新規契約が7人、利用中止が5人である。利用中止の内訳は長期入院によるものが2人、定期巡回・随時対応型訪問介護看護への変更が3人である。

また、居宅介護・重度訪問介護（障害福祉サービス）については利用が無かったが、3月に下関市による実地指導を受けた。

業務継続計画策定のため、事業所内で非常災害や感染症が発生した場合においても、サービス提供を継続、もしくは早期に復旧するために実施すべき事項を定めた。

○月別利用状況

月	営業 日数	利用数（延べ回数）				平均利用者数（人）
		総合支援	介護保険	障 害 者	合計	
4	30	64	12	0	76	2.53
5	31	47	13	0	60	1.94
6	30	51	16	0	67	2.23
7	31	64	14	0	78	2.52
8	31	53	17	0	70	2.25
9	30	91	16	0	107	3.56
10	31	48	18	0	66	2.13
11	30	56	14	0	70	2.33
12	31	82	17	0	99	3.19
6/1	31	53	14	0	67	2.16
2	29	58	13	0	71	2.45
3	31	62	14	0	76	2.45

○利用者要介護状態区分

介護度	事業対象者	要支援1	要支援2
利用者数	2	5	6

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用者数	3	0	0	0	0

令和5年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 にじの丘 事業報告

年度末時点での利用登録者は21人、全員サービス付き高齢者向け住宅にじの丘の入居者であり、新規契約が9件、利用中止が5件あった。利用中止の内訳は、長期入院によるものが1人、グループホーム入居が3人、特別養護老人ホーム入居が1人である。一体型の訪問看護の利用登録者は4人であった。

業務継続計画策定のため、事業所内で非常災害や感染症が発生した場合においても、サービス提供を継続、もしくは早期に復旧するために実施すべき事項を定めた。

○月別利用状況

月	営業日数（日）	実利用者数（人）
4	30	17
5	31	16
6	30	16
7	31	17
8	31	17
9	30	18
10	31	20
11	30	20
12	31	20
6/1	31	19
2	29	20
3	31	21

○利用者要介護状態区分

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用者数	15	5	1	0	0

令和5年度 居宅介護支援事業所 にじの丘 事業報告

利用者・家族の意向を踏まえ、民生委員・児童委員や主治医、その他関係機関等との連携を図りながら、感染症対策にも留意し、適切な介護サービスを活用することで住み慣れた地域で安全に有意義な生活が送れるよう支援した。

また、介護保険サービスのみのケアプランではなく、各種福祉サービスも取り込んだプラン作成に努めた。

主任介護支援専門員一人体制のため、担当する利用者数に限りがあったが、可能な限り受け付けた。一方で施設入所や入院などで契約終了が続いたこともあった。

業務継続計画策定のため、事業所内で非常災害や感染症が発生した場合においても、サービス提供を継続、もしくは早期に復旧するために実施すべき事項を定めた。

○利用状況

区分 月	要支援 1 (人)	要支援 2 (人)	事業対 象 (人)	合計 (人)	要介護 1 (人)	要介護 2 (人)	要介護 3 (人)	要介護 4 (人)	要介護 5 (人)	合計 (人)
4	1	1	0	2	23	12	2	3	0	40
5	1	1	0	2	23	12	1	3	0	39
6	1	1	0	2	24	11	1	3	0	39
7	1	1	1	3	24	12	1	3	0	40
8	1	1	1	3	23	12	1	3	1	40
9	1	1	2	4	23	10	2	3	1	39
10	1	1	2	4	24	8	1	4	1	38
11	1	1	2	4	22	9	1	4	1	37
12	1	1	2	4	24	9	1	4	0	38
1	1	1	2	4	21	9	2	1	0	33
2	1	1	2	4	22	8	3	1	0	34
3	0	1	2	3	23	9	3	2	0	37
合計	11	12	16	39	276	121	19	34	4	454

令和5年度 サービス付き高齢者向け住宅 にじの丘 事業報告

年度末時点の入居状況は47部屋中40部屋、入居者数は42人で男性8人、女性34人である。現在の入居者の平均年齢は、88.5歳、平均介護度は0.8である。今年度は、新規入居者14人、退居者8人であった。退居の内訳は、法人内グループホーム入居が3人、特別養護老人ホーム入居が1人、長期入院が3人、自己都合が1人であった。

3月より、入居者高齢化に伴って病人の専門的対応が必要となり、訪問看護ステーションにじの丘と業務委託契約し、医療連携を開始した。

○入居者の状況

(47戸 定員58人)

居室タイプ	戸数	入居戸数 (入居者数)	平均年齢	平均介護度	入居率
A	1	0	88.5歳	0.8	85%
B	10	6 (8)			
C	5	4			
D	28	27			
Ds	3	3			

○居室タイプ (仕様)

居室タイプ	入居人数	居室仕様
A	1～2人用	クローゼット(大)、洗面、トイレ、キッチン、洗濯機置き場、浴室、脱衣室
B (1F)	1～2人用	クローゼット(大)、洗面、トイレ、キッチン、洗濯機置き場、畳ルーム (1F3戸のみ)
B (2F)		クローゼット(大)、洗面、トイレ、広めの居室空間
C	1人用	クローゼット、洗面、トイレ、ミニキッチン、畳ルーム
D	1人用	クローゼット、洗面、トイレ
Ds	1人用	クローゼット、洗面、トイレ ※梁部分が多い

令和5年度 訪問看護ステーション にじの丘 事業報告

利用者が在宅において安心・安全・安楽に生活ができるよう、主治医や関係各機関との連携をとりながら訪問看護を行っている。年間新規契約者は6人、終了は8人であった。

末期癌や難病の方、重症度・医療の必要度が高い方が多くなり、二人対応の訪問が増えた。

今後も可能な範囲で利用者数の増加を目指し、医療機関や居宅介護支援事業所等に営業していく。

○利用状況

月	営業 日数	利用人数（延べ回数）				平均利用人数
		介護予防	介護保険	医療保険	合計	
4	25	4	42	114	160	6.4
5	27	5	42	138	185	6.9
6	26	3	63	102	168	6.5
7	26	4	55	92	151	5.8
8	27	4	69	98	171	6.3
9	26	8	58	81	147	5.7
10	26	6	62	82	150	5.8
11	26	5	62	83	150	5.8
12	26	10	66	81	157	6.0
6/1	27	9	70	73	152	5.6
2	25	14	65	87	166	6.6
3	26	11	74	122	207	8.0
計	313	83	728	1.153	1.964	6.3

○介護度別利用実績

介護度	要支援1	要支援2
延べ利用回数	25	58

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
延べ利用回数	200	139	35	337	19